

○鈴鹿工業高等専門学校教員のオフィスアワーズの取扱いについて

〔平成25年9月4日〕
〔校長 裁定〕

鈴鹿工業高等専門学校教員のオフィスアワーズの取扱いについて

鈴鹿工業高等専門学校における教科指導の充実を図る一環として、学生が指導を受けやすい環境を作るために、教員が指導を行う日時及び場所等(以下「オフィスアワーズ」という。)について、下記のとおり定める。

- 1 教員は、オフィスアワーズを設けることを原則とすること。
- 2 オフィスアワーズは、教育指導の内容等に応じて教員個人が設定すること。
- 3 オフィスアワーズは、原則として週1回実施すること。
- 4 オフィスアワーズを設定した際は、学生に対し日時、場所等を研究室の入口に掲示するなどの方法により明示すること。
- 5 第1から第4までの取扱いは、従来の教科指導を妨げるものではないこと。

附 記

この取扱いは、平成25年10月1日から実施する。

学校案内

学科・専攻科

入試情報

企業の皆様

地域の皆様

在学生・保護者の皆様

卒業生の皆様



鈴鹿工業高等専門学校 - 創造力豊かな国際社会に通用するエンジニアを育成 > 在学生・保護者の皆様 > 授業内容 (シラバス)

授業内容 (シラバス)

在学生・保護者の皆様

シラバス

Webシラバス

学 科	開講科目一覧	PDF版
機械工学科	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
電気電子工学科	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
電子情報工学科	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
生物応用化学科	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
材料工学科	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
専 攻 科	開講科目一覧	PDF版
総合イノベーション工学専攻 (環境・資源コース)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
総合イノベーション工学専攻 (エネルギー・機能創成コース)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
総合イノベーション工学専攻 (ロボットテクノロジーコース)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
総合イノベーション工学専攻 (先端融合テクノロジー連携教育プログラムコース)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

在学生・保護者の皆様トップ

学生便覧

行事予定

学生生活

学寮生活

[授業内容 \(シラバス\)](#)
[過去のシラバス](#)

進学・就職

学生相談窓口

授業料等免除・奨学制度

災害等による対応

教育後援会

校長意見箱

SOS学生相談窓口：本校学生専用

過去のシラバス

・過去のシラバス

教育課程表

学科

入学

		令和3年度入学	令和4年度入学	令和5年度入学	令和6年度入学	令和7年度入学
一般科目	生物応用化学科以外	<input type="radio"/>				
	生物応用化学科	<input type="radio"/>				
専門科目	機械工学科	<input type="radio"/>				
	電気電子工学科	<input type="radio"/>				
	電子情報工学科	<input type="radio"/>				
	生物応用化学科	<input type="radio"/>				

	材料工学科	<input type="radio"/>				
--	-------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

専攻科

		令和6年度入学	令和7年度入学
総合イノベーション工学専攻	教養・コース共通科目	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	専門科目	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
総合イノベーション工学専攻 連携教育プログラム	教養科目	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	専門科目	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

オフィスアワーズ

オフィスアワーズとは、週1日、授業終了後に先生方が研究室に在室し、学生からの質問・相談を受け付けるための時間です。

- 教育教養科
- 機械工学科
- 電気電子工学科
- 電子情報工学科
- 生物応用化学科
- 材料工学科

[+ ページの先頭へ](#)

- [ホーム](#)
 - [学校案内](#)
 - [学科・専攻科](#)
 - [入試情報](#)
 - [企業の皆様](#)
 - [地域の皆様](#)
 - [在学生・保護者の皆様](#)
 - [卒業生の皆様](#)
- [新着情報](#)
[フォト広報](#)
[メディア情報](#)
[情報公開](#)
[リンク集](#)
[サイトポリシー](#)

独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴鹿工業高等専門学校
〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町 お問い合わせ・連絡先

Copyright© National Institute of Technology (KOSEN), Suzuka College

○鈴鹿工業高等専門学校校長意見箱取扱要領

〔平成 24 年 8 月 8 日〕
校 長 裁 定
最終改正令和 3 年 12 月 15 日

鈴鹿工業高等専門学校校長意見箱取扱要領

(趣 旨)

第1 この要領は、独立行政法人国立高等専門学校機構鈴鹿工業高等専門学校（以下「本校」という。）の教育研究、学習環境、その他校務運営について、学生、保護者、教職員（非常勤職員を含む。）、学外者（以下「投稿者」という。）から率直な意見、要望、指摘等（以下「投稿意見等」という。）を求め、本校の課題、問題点、リスク事象等を早期に把握するとともに、円滑かつ適切な解決を図るため、校長意見箱（以下「意見箱」という。）を開設し、この取扱いに関して必要な事項を定めるものとする。

(取扱方針)

- 第2 投稿意見等は、次に掲げる方針に沿って取り扱うものとする。
- 一 投稿者は、投稿意見等を行ったことを理由に不利益な取扱いを受けないこと（虚偽、誹謗中傷、その他不正を目的とする内容の場合を除く。）
 - 二 投稿意見等は、意見箱設置の趣旨に反するような利用に供しないこと
 - 三 プライバシー等の特定の個人情報に記載された投稿意見等は、鈴鹿工業高等専門学校文書処理規則（平成 16 年規則第 44 号）第 3 条第 2 号に規定する特別文書（秘密扱い文書）に準ずる取扱いとし、閲覧者を可能な限り限定すること
 - 四 前各号のほか、投稿意見等を取り扱う教職員は、鈴鹿工業高等専門学校個人情報取扱要項（平成 30 年 8 月 1 日校長裁定）を準拠し、取得した個人情報を適切に管理すること

(開 設)

- 第3 意見箱は、次の各号に掲げる方法で開設するものとする。
- 一 マルチメディア棟 1 階に投函箱と投稿用紙を設置（主として学生及び教職員を対象）
 - 二 本校公式ホームページに案内と投稿フォームを配置（主として保護者、学外者を対象）
- 2 前項各号の投稿用紙又は投稿フォームは、校長が所定の様式を定める。

(対応手順)

- 第4 投稿意見等は、総務課長が受理し、速やかに校長及び事務部長に報告するとともに、以後の対応について校長の指示を仰ぐものとする。
- 2 総務課長は、前項の指示を受け、担当校長補佐並びに担当課長及び事務を所掌する担当係（以下「担当課長等」という。）に以後の対応を依頼するものとする。なお、校長補佐、担当課又は担当係が複数に渡る場合は、総務課長がその調整にあたることとする。
 - 3 前項の依頼を受けた担当校長補佐及び担当課長は、投稿意見等の内容に応じ、実情及び現況の把握を行い、必要に応じて対応策を検討し、投稿意見等に対する回答の素案を作成の上校長及び事務部長に報告するものとする。
 - 4 校長は、前項の報告を受け、必要に応じ校長補佐等の意見を聴取し、本校としての最終判断を行うものとする。
 - 5 担当課長等は、投稿者の公表又は非公表の希望区分にかかわらず、投稿意見等に対する本校の回答を速やかに行うものとする。ただし、速やかに回答することが難しいと判断した場合は、

投稿者に対して面談、電話又は電子メールにより、その理由及び対応状況等を連絡するものとする。

- 6 第1項から前項までの規定にかかわらず、投稿意見等の内容が、独立行政法人国立高等専門学校機構公益通報の処理等に関する規則（平成19年規則第72号）に該当する公益通報の場合は、同規則に基づき対応するものとする。

（回答方法等）

第5 投稿意見等に対する本校の回答は、次の各号に掲げる方法で行うものとする。

- 一 投稿意見等を「公表する」とされたもの
校内WEB（学内専用ページ）への掲示
- 二 投稿意見等を「公表しない」とされたもの
面談、電話、回答文書の送付又は電子メール
- 三 匿名の投稿意見等のうち、直接の伝達手段がない場合で回答を要すると判断されたもの
校内WEB（学内専用ページ）への掲示

2 前項の校内WEB（学内専用ページ）、電子メール及び回答文書の送付による回答は、校長名をもって行うものとし、面談、電話による回答は、校長の指名した本校対応者が職名及び氏名を明らかにして行うものとする。

3 校長は、次の各号に該当する投稿意見等については、回答しないことができるものとする。

- 一 他の者又は団体の権利若しくは利益を侵害し、若しくは侵害するおそれのあるもの
- 二 法令等に違反し、又は違反するおそれがあるもの
- 三 教職員又は学生の私的若しくはプライバシーに関するもの
- 四 無記名（匿名を含む。）によるもの
- 五 その他、投稿意見等の内容が意見箱の設置趣旨に反しているもの

（庶務）

第6 意見箱に関する庶務は、総務課総務企画係において処理する。

（補則）

第7 この要領に定めるもののほか、意見箱の取扱いに関し必要な事項は、校長補佐等の意見聴取を経て、校長が決定する。

附記

この要領は、平成24年8月8日から施行する。

附記

この要領は、平成27年7月1日から施行する。

附記

この要領は、令和3年10月6日から施行する。

附記

この要領は、令和3年12月15日から施行する。

[学校案内](#)[学科・専攻科](#)[入試情報](#)[企業の皆様](#)[地域の皆様](#)[在学生・保護者の皆様](#)[卒業生の皆様](#)

在学生・保護者の皆様

[鈴鹿工業高等専門学校 - 創造力豊かな国際社会に通用するエンジニアを育成 > 在学生・保護者の皆様 > 校長意見箱](#)

校長意見箱

在学生・保護者の皆様

保護者の皆様へ

鈴鹿工業高等専門学校をよりよくするために、高専の運営、教育、研究、生活環境等について、ご意見をお聞かせいただき、学校運営に反映させてまいりたいと思います。

ご意見、ご要望、ご指摘等（可能な限り詳細に記入して下さい）

保護者氏名 * 学生の学年 * 学生の学科名 * 連絡先TEL * 連絡先E-MAIL * 題名 * ご意見内容 *

送信

リセット

[在学生・保護者の皆様トップ](#)[学生便覧](#)[行事予定](#)[学生生活](#)[学寮生活](#)[授業内容（シラバス）](#)[過去のシラバス](#)[進学・就職](#)[学生相談窓口](#)[授業料等免除・奨学制度](#)[災害等による対応](#)[教育後援会](#)[校長意見箱](#)[SOS学生相談窓口：本校学生専用](#)[↑ ページの先頭へ](#)[ホーム](#) | [学校案内](#) | [学科・専攻科](#) | [入試情報](#) | [企業の皆様](#) | [地域の皆様](#) | [在学生・保護者の皆様](#) | [卒業生の皆様](#) |[新着情報](#) | [フォト広報](#) | [メディア情報](#) | [情報公開](#) | [リンク集](#) | [サイトポリシー](#)

独立行政法人 国立高等専門学校機構 鈴鹿工業高等専門学校
〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町 お問い合わせ・連絡先

校長意見箱に寄せられた意見

2024.5.18	無断駐輪（保護者）
2024.4.9	健康診断で予定が大幅に押した件について（保護者）
2023.11.10	学生会の投票方法について（学生）
2023.11.7	授業中の教員の発言について（学生）
2023.10.6	図書館の本の貸し出しについて（学生）
2023.9.28	自転車通学（保護者）
2023.8.25	学習スペースの開放時間について（学生）
2023.5.20	担任の対応について（保護者）
2023.3.22	バンド練習場所設置の依頼（学生）
2023.2.8	放置自転車への対応について（保護者）
2023.1.26	ロボコンプロジェクトの部屋について（学生）
2022.11.15	寮食堂の食券につきまして（保護者）
2022.10.6	工場見学兼修学旅行の件（保護者）
2022.7.23	息子の学校生活状況について（保護者）
2022.1.23	後期試験の開催（保護者）
2022.1.18	先生の押し付け敬語（保護者）
2022.1.12	改善のお願い（保護者）

出典：メールとして寄せられた投書のデータと、紙媒体の投書から作成

**令和7年度 鈴鹿高専・鳥羽商船 学生海外派遣プログラム【アメリカ】
参加学生募集要領**

趣 旨

本校学生を海外に派遣し、諸外国の科学技術・工学教育・工業の現状・文化事情等に触れさせることにより、国際的視野を持った技術者を養成することを目的とする。

派遣先

アメリカ合衆国オハイオ州立大学（鈴鹿高専・鳥羽商船の合同開催を予定）

派遣期間

令和7年9月21日(日)出発～9月28日(日)帰国【予定】

派遣の概要

本校と技術的・文化的交流を目的とした相互協力を締結しているアメリカ合衆国オハイオ州立大学工学部にて施設・設備・授業等を見学するとともに、同大学学生との交流を通して同国における科学技術・工学教育の実態に触れる。

また、サンフランシスコにおいて高等教育機関およびスターアップ企業の見学を通じて、同国の社会、文化事情等を体験する。

応募資格

本校の学科第3学年・4学年・第5学年および専攻科に在学する学生

- ・ IP試験含むTOEICスコア400以上であること。（GTECのTOEIC換算可）
- ・ 2回以上の参加は不可とする。

募集人数 鈴鹿高専・鳥羽商船10人程度（予定）

募集期間 令和7年4月11日（金）～5月12日（月）

渡航費用

1人あたり70万円前後

内約15万円程度は高専機構と教育後援会から補助（学生自己負担予定額約55万円程度）

※物価高騰と外貨レート上昇のため、金額は高騰することが予測される。

（パスポート取得手数料1万1千円、任意保険、8日間の食事代及び食事の時のチップ等は別途個人負担となる。また、金額は目安であり、航空運賃、燃油サーチャージ、為替レートの変動等により、負担額が増減する可能性がある。また、補助金申請のために、出発前後に計画書類等の提出あり。）

申込み方法

「学生海外派遣プログラム（アメリカ）応募申請書」に必要事項を記載のうえ、担任及び学科長の押印後、TOEICスコアまたは英語能力を示す資料（GTECや英検など）を添えて、学生課教務係に提出する。

*採択後、Formsにて必要情報を記入し、パスポートのコピーなど必要書類を提出すること。

参加学生の決定

参加学生は、応募者の状況等を考慮してTOEICスコア等を総合的に判断し派遣学生を決定する。

6月上旬頃に本人及びクラス担任に通知する。

事前準備

参加学生は、本校で実施するオリエンテーションに必ず参加すること。

参加学生は、オーラルを含む英語コミュニケーション能力向上に向けた自己研鑽に努めること。

帰国報告

滞在期間中に日報をTeams上に提出し、後日開催の帰国報告会にてアメリカで学び、体験したことなどについて成果報告を行うこと。また、その際のプレゼン資料を期日までに提出すること。

その他

- (1) 必ず任意の海外旅行傷害保険に加入すること。
- (2) 参加決定後の辞退はできません。
- (3) 留学の成果を確認するために帰国後にTOEIC試験を受験すること。（任意）

3. 参加対象

令和7年度に本科4年・5年、専攻科1年・2年に在籍する国立高専の学生

4. 参加定員

20名（応募者多数の場合は、抽選。）

5. 募集期間

令和7年4月11日（金）～4月23日（木）23時59分

6. 応募方法

以下の Forms に必要情報の記入してください。

<https://forms.office.com/r/rwiSTRacXh>

7. 履修科目・単位の取扱い

（1）履修登録について

この科目は、高専間提供科目のため、参加が決定した学生は、本科生については、高専間提供科目の履修手続きに則り、専攻科生は各高専が定める専攻科の授業科目の履修等に関する規則等に則り、履修登録を行う必要があります。

（2）学生在籍高専における単位の取扱い

鈴鹿高専以外の高専に在籍する学生の取得単位の取扱いについては、「国立高等専門学校間単位互換の推進に関する実施方針」に基づき、在籍高専においてディプロマポリシー（DP）等に則り、適切に判断していただくこととなります。

8. 参加学生への配慮

参加学生の在籍高専においては、参加学生に対して、以下の配慮、支援を行ってください。

- ・オンライン授業の受講等に当たり、学内施設の利用の許可、または受講場所の提供などのご配慮をお願いいたします。

9. 費用負担

「(C) KOSEN Global Camp in SUZUKA」の参加にあたり参加費1万円が必要となります。ただし、鈴鹿高専までの往復移動費及び宿泊費については、負担します。

10. その他

上記プログラムに定員が達しない場合、「KOSEN Global Camp in SUZUKA」のみ参加募集を行う場合があります。その場合の参加経費につきましては、上記と同様となります。

問合せ先：鈴鹿高専 学生課教務係：eメール：kyomu@jim.suzuka-ct.ac.jp

電話番号：059-368-1731

令和6年度 修了認定会議事録

日時：令和7年3月11日(火) 13:30～14:30

場所：第3合併講義室 対面実施

出席：全教員

欠席：■■■

陪席：■■■■■

校長挨拶 説明担当：■■■教務主事 司会進行：学生課長

審議事項

1. 1～4年生学生の進級判定について【回収資料】参考資料として表紙のみあり
各学科担任より単位数等の成績状況の報告がなされ、
進級要件の確認が行われた。
進級要件を満たした学生の認定が行われた。

また、追認該当学生一覧を基に追認試験対象者を共有し、追認試験学生を承認した。

回収資料

氏名（記入願います）

令和 年度

修了認定会議資料
学業成績／出欠一覧表
(学科第1学年～第4学年)

令和 年 月 日

鈴鹿工業高等専門学校

○鈴鹿工業高等専門学校シラバス・成績評価シート整合性チェック実施要領

令和7年4月30日
校長 裁定

鈴鹿工業高等専門学校シラバス・成績評価シート整合性チェック実施要領

1. 目的

各科目のシラバスが漏れなく正しく提示されていること、成績評価がシラバス通りに適切に行われていることの確認に関し、組織的な措置を実施するために必要な事項を定めるものとする。

2. シラバス提示チェックの方法

年度末までに、次年度の全ての科目のシラバスを、以下の項目に従ってチェックを行う。問題がある科目を抽出しリストアップする。本業務は教務主事補が実施し、結果を教務係（教育改善フォローアップ担当）と共有する。

- シラバスが提示・公開されているか
- 評価割合に問題がないか

3. 成績評価チェックの方法

前期末までに、前年度の対象学年を定めた科目の成績評価シートを、以下の項目に従ってチェックを行う。問題がある科目を抽出しリストアップする。本業務は教務主事補あるいは点検評価担当が実施し、結果を教務係（教育改善フォローアップ担当）と共有する。

- 成績評価がシラバス通りに行われているか
- 定期試験の統計量が適切であるか

4. 問題がある科目の担当教員に教務主事より個別に連絡する。

5. 教務主事より連絡を受けた教員は改善、あるいは改善策を記入し教務係へ提出する。

6. 提出のあった改善策について教務委員会で共有し、フィードバックを行う。

附 記

この要領は、令和7年4月30日から施行し、令和7年4月1日から適用する。

○鈴鹿工業高等専門学校学業成績評価基準

平成 16 年 4 月 1 日
校 長 裁 定

最終改正令和 7 年 4 月 9 日

鈴鹿工業高等専門学校学業成績評価基準

(趣旨)

第 1 条 授業科目の履修・単位の修得及び修了認定に関する規則第 4 条の 2 の規定に基づき、学業成績については、この基準によって評価する。

(原則)

第 2 条 学業成績は、試験の結果又は課題・レポート等の結果に基づき評価する。

(試験)

第 3 条 本校教育の成果をはかり、適正な授業運営の資料とし、あわせて学生の学習効果を確かめ、その指導に資するため試験を行う。

- 2 学生は、試験を受けなければならない。
- 3 試験は、平常の試験、中間試験及び定期試験とする。

(平常の試験)

第 4 条 授業担当教員は、当該科目について随時に、適宜の方法で試験(平常の試験という。)を行うことができる。

(中間試験)

第 4 条の 2 中間試験は、前期後期それぞれの間際に校長が一定の期日を定めて、原則として全校一斉に行う。ただし、授業担当教員は教科の性質又は授業の進度等によって、これを行わないことができる。

- 2 中間試験の期日・時間割等は 2 週間前に告示する。

(定期試験)

第 5 条 定期試験は、各学期末に校長が期日を定めて、原則として全校一斉に行う。

- 2 定期試験は、筆答試験によることを通例とする。ただし、授業科目の特質により実技を課し、又は作品・報告書等の提出をもって筆答試験にかえることができる。
- 3 授業担当教員は、前項のほか授業上必要と認めるときは報告書・論文等の提出をもって筆答試験にかえることができる。
- 4 授業担当教員は、第 2 項ただし書及び第 3 項により筆答試験によらないで定期試験を行うときは、あらかじめ校長の承認を得なければならない。
- 5 定期試験の期日・時間割等は 2 週間前に告示する。(定期試験を受けられない場合の取扱い)

第 6 条 病気その他の理由によって定期試験を受けることができない者は、あらかじめ事由を付して(病気による場合は、医師の診断書を添付すること)校長に届出なければならない。

- 2 前項の者に対しては、校長の定めるところにより追試験を行うものとする。

(再試験)

第6条の2 定期試験及び中間試験の評価で60点に達していない授業科目については、再試験を行うことができる。

2 再試験における試験科目の点数については、60点を上限とする。

3 第7条の規定に基づき0点とされた科目の再試験は行わない。

(不正行為の取扱い)

第7条 第3条第3項、第6条第2項及び第6条の2第1項に規定する試験において、不当な方法により当該試験の有効性を損なう行為(以下「不正行為」という。)が発覚した場合は、次の各号において定めるいずれかの取扱いによるものとする。

一 中間試験、定期試験、追試験及び再試験において、不正行為が発覚した場合は、当該試験期間中に試験を実施した全科目の試験の点数を0点とする。ただし、不正行為が本校入学以降初回のものであり、かつ、不正行為が過失によるものと認められる場合は、不正行為が発覚した当該科目の点数を0点とするが、当該試験期間におけるその他の科目の試験の点数については、それぞれ60点をその上限とする。

二 平常の試験において、不正行為が発覚した場合は、当該科目の平常の試験における当該期の評価を0点とする。

三 筆答試験以外の方法で行われる定期試験において、不正行為が発覚した場合は、当該科目の点数を0点とする。

(学業成績の評価及び報告)

第8条 授業担当教員は、定期試験終了後速やかに担当科目について当該学期間の成績を評価し、校長に報告するものとする。ただし、前期後期を通じて授業を行う科目については学年末においては、一年間の成績を評価してこれを報告するものとする。

2 前期又は後期のみ授業を行う科目については、当該学期の成績をもって学年の成績とする。

(評価等)

第9条 中間試験を実施した授業担当教員は、試験終了後速やかに担当教科について各学期の初めから中間試験までの間の成績を評価し、校長に報告するものとする。

第10条 第8条及び前条の評価は、定期試験等の成績を基に評価するものとする。ただし、低学年(第1・2学年)については、平常の授業に対する取組姿勢を加味することもある。

2 前項の取組姿勢を加味する場合にあっては、シラバスに明記しなければならない。

3 評価は、100点法によってこれを表す。

第11条 (削除)

(学業成績の記録)

第12条 学業成績は、点数に次の評語を付して学籍簿に記載する。ただし、「不可」については、この限りでない。

評語 学業成績の点数

秀 100点-90点

優 89点-80点

良 79点－70点

可 69点－60点

不可 59点以下

(学業成績の利用)

第13条 学業成績は、各学期及び一年間の評価確定後速やかに学生及び保護者に通知する。ただし、学年末においては全学年の成績のみを通知するものとする。

2 前項の規定による通知のほか、学級担任が学生指導上必要があると認めたときは、学生に対して点数を内示することができる。

3 就職、進学、その他学生の身分上のことで学業成績を報告し、又は証明書を発行する場合は、評語によることとし、各学年末の成績のみについて、これを行う。

附記

この基準は、平成18年4月1日から施行する。

附記

この基準は、平成19年4月1日から施行する。

附記

この基準は、平成25年4月1日から施行する。

附記

この基準は、平成25年12月1日から施行する。

附記

この基準は、令和5年12月13日から施行する。

附記

この基準は、令和7年4月9日から施行し、令和7年4月1日から適用する。

改正後の規則は、令和7年度入学生から適用し、令和6年度以前入学生は、なお従前による。

○鈴鹿工業高等専門学校追認試験に関する規則

〔平成16年4月1日
規則第13号〕

最終改正平成28年1月26日

鈴鹿工業高等専門学校追認試験に関する規則

(趣旨)

第1条 授業科目の履修・単位の修得及び修了認定に関する規則（平成16年規則第8号）

第9条の規定に基づく追認試験については、この規則の定めるところによる。

(追認試験の実施)

第2条 追認試験は、第1～第4学年については修了認定会議終了後、第5学年については卒業判定会議終了後の定められた日に実施する。

(追認試験を受けられない場合の取扱い)

第3条 病気又はやむを得ない事由により追認試験を受けることができない者は、事由を付して(病気の場合は医師の診断書を添付する。)校長に届け出なければならない。

2 前項の者に対する追認試験は、当該事由等の状況を踏まえ適切な時期に実施することができる。

3 正当な事由なくして追認試験を受けない者は追認試験を放棄したものとみなし、当該授業科目の単位の未修得が確定する。

(不正行為の取扱い)

第4条 追認試験中に不当行為を行った者は、その時以後の試験を受験することができない。また、追認試験全ての科目の成績は0点となり、未修得が確定する。

(追認試験の事務)

第5条 追認試験に関する事務は学生課教務係が担当する。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成18年2月6日から施行する。

附 則

この規則は、平成28年1月26日から施行し、平成27年4月1日から適用する。

○鈴鹿工業高等専門学校追認試験に関する取扱いについて

平成16年4月1日 校長 裁定

鈴鹿工業高等専門学校追認試験に関する取扱いについて

規則で定める追認試験の実施に当たっては、下記によるものとする。

- 1 授業担当教員は、追認試験受験申請者に対し、前年度学業成績が、「不可」となったことを十分認識させ、自主的に勉学するように指導督励をするものとし、その方法は授業担当教員の裁量とする。
- 2 追認試験を実施する授業科目の担当教員が非常勤講師であった場合は、その非常勤講師に試験問題の作成及び採点(評価)を依頼する。
- 3 追認試験で合格点(60点)に達したとみなされる科目については「可」と評価し、修得単位数に加算する。追認試験によってもなお合格点に達しなかった科目に対しては「不可」とし、未修得単位が確定する。
- 4 追認試験は原則として前年度の授業担当教員がこれを実施するが、授業担当教員が転勤などの理由により実施できないときは教務委員会で処理する。
- 5 追認試験の監督は原則として教務委員が行う。

附 記

この申合せは、平成 16 年 4 月 1 日より施行する。

The screenshot shows a Microsoft Teams interface. The channel name is "[025]学生への案内 (R6)". The main message is a blue banner with the text "令和6年度学年末試験 成績・出欠訂正について". Below the banner, the text reads: "成績・出欠に疑義がある場合は3月24日(月)17時までにFormsで申請してください". It includes a URL for the application form: "https://forms.office.com/r/TdwnGcd4Kj". There are two follow-up messages: one from 05_5学年 on 03/18 stating that the "規定平均点" is not used for corrections, and another reminder on 03/24 that the application deadline is 17:00 on that day.

出典：チームズによる学生への案内（スクリーンショット）

○ 鈴鹿工業高等専門学校卒業認定に関する規則

〔平成16年4月1日〕
規則第12号
最終改正平成28年3月2日

鈴鹿工業高等専門学校卒業認定に関する規則

(趣旨)

第1条 卒業の認定は、この規則の定めるところによる。

(卒業認定の基準)

第2条 第5学年を修了した者について、次の各号に該当する場合は卒業を認定する。

- (1) 各学年において、所定の単位を修得していること。
- (2) 全学年において修得した単位は167単位以上(そのうち、一般科目については75単位以上、専門科目については82単位以上とする。)であること。
- (3) 別に定める各学科の学習・教育到達目標の達成度評価基準を満たしていること。

(卒業認定)

第3条 前条の認定は、専任の授業担当教員で組織する卒業判定会議の意見を聞いて校長がこれを行う。

(卒業証書の授与)

第4条 前2条により卒業を認定した者には卒業証書を授与する。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成24年2月6日から施行する。

附 則

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

令和6年度 卒業判定会議議事録

日時：令和7年3月5日（水）13：30～14：15

場所：第3合併講義室 対面実施

出席：全教員

欠席：■■■■■■■■■■

陪席：■■■■■■■■■■

校長挨拶 説明担当：■■■■教務主事 司会進行：学生課長

審議事項

1. 5年生学生の卒業判定について【回収資料】参考資料として表紙のみあり
各学科担任より単位数等の成績状況の報告がなされ、
卒業要件の確認が行われ卒業が認定された。

なお、1名卒業不認定者あり。

回収資料

氏名 _____

令和 年度

修了認定会議

卒業判定会議

資料

学業成績／学習・教育到達目標達成度状況／出欠一覧表

(学科 第5学年)

令和 年 月 日

鈴鹿工業高等専門学校

(WEB掲載版 出願書類なし)

令和7年度 学科学生募集要項 入学案内

推薦選抜	WEBエントリー期間	令和 6年12月 2日(月)～ 令和 7年 1月 6日(月)
	出願期間	令和 6年12月26日(木), 12月27日(金), 令和 7年 1月 6日(月)
	面接日	令和 7年 1月11日(土)
	合格者発表	令和 7年 1月17日(金) 10時
	入学手続期間	令和 7年 1月20日(月)～ 1月24日(金)
学力選抜	WEBエントリー期間	令和 6年12月 2日(月)～ 令和 7年 1月30日(木)
	出願期間	令和 7年 1月27日(月)～ 1月30日(木)
	検査日	令和 7年 2月 9日(日)
	合格者発表	令和 7年 2月21日(金) 10時
	入学手続期間	令和 7年 2月25日(火)～ 3月17日(月) 正午
帰国生徒特別選抜	WEBエントリー期間	令和 6年12月 2日(月)～ 令和 7年 1月30日(木)
	出願期間	令和 7年 1月27日(月)～ 1月30日(木)
	検査日	令和 7年 2月 9日(日)
	合格者発表	令和 7年 2月21日(金) 10時
	入学手続期間	令和 7年 2月25日(火)～ 3月17日(月) 正午



NIT, Suzuka College

独立行政法人 国立高等専門学校機構

鈴鹿工業高等専門学校

〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町

TEL 059-368-1739

FAX 059-368-1738

<https://www.suzuka-ct.ac.jp>

目 次

令和7年度学科学生募集要項

I. アドミッション・ポリシー（学科入学者受入方針）	1
1. 求める入学志願者像	
2. 入学者選抜方針及び選抜の方法	
II. 募集人員	1
III. 推薦による入学者の選抜	2
1. 中学校等からの推薦者数	
2. 出願資格	
3. 出願手続	
4. 選抜の実施方法等	
5. 合格者発表	
6. 入学手続	
7. 推薦による選抜で不合格となった者の学力検査受験等について	
IV. 学力検査による入学者の選抜	5
1. 出願資格	
2. 出願手続	
3. 選抜の実施方法等	
4. 合格者発表	
5. 入学手続	
V. 帰国生徒特別選抜	8
1. 出願資格	
2. 出願手続	
3. 選抜の実施方法等	
4. 合格者発表	
5. 入学手続	
VI. 追試験の実施について	12
1. 受験資格	
2. 推薦による選抜における追試験	
3. 学力検査による選抜，帰国生徒特別選抜における追試験	
4. その他	
VII. 出願上の留意事項	13
VIII. 入試成績の開示について	14
IX. 個人情報取扱い	15
X. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して	15
XI. 入学予定者オリエンテーション	16
XII. 検査場の位置図及び交通案内	16

入学案内

I. 鈴鹿工業高等専門学校について-----	17
1. 鈴鹿工業高等専門学校の歴史	
2. 教育理念	
II. 教育課程 -----	18
III. 修業年限及び学科卒業生の称号 -----	18
IV. 学科紹介 -----	18
V. 卒業までに必要な経費（予定額） -----	19
(出願書類)	

教育課程、学科紹介、入学料・授業料免除及び奨学金制度等の詳細は、本校ウェブページでも公開しています。



(本校ウェブページ)

○WEBエントリーから出願までの流れ

令和7年度学科学生募集要項

I. アドミッション・ポリシー（学科入学者受入方針）

1. 求める入学志願者像

- (1) 中学における学習内容をしっかりと理解している人
- (2) 数学や理科に興味を持ち、科学の発展に夢を持っている人
- (3) 何事にも積極的に挑戦する意欲があり、自ら進んで学習できる人
- (4) 他人を思いやり、協調していける人

2. 入学者選抜方針及び選抜の方法

本校では、「世界に羽ばたく創造的エンジニア」の育成を目的とし、その高い可能性を持った学生の選抜を基本とします。

入学者の選抜は、多様な人材を選抜するため、「推薦による選抜」と「学力による選抜」及び「帰国生徒特別選抜」を行います。

推薦選抜においては、中学校における成績を評価するとともに、自然科学や科学技術に対する興味、工学を学ぶ意欲、生徒会活動・課外活動・ボランティア活動などの経験を通して育まれた協調性、コミュニケーション能力やリーダーシップ能力などを、面接結果を含め総合的に評価し、知徳体にバランスのとれた学生を選抜します。

学力選抜においては、実践的・創造的技術者教育に必要な一般科目と専門科目を十分理解できる学生を選抜するため、その基礎となる学力の試験及び調査書の合計点を評価して選抜します。帰国生徒特別選抜においては、作文と面接も評価して選抜します。

II. 募集人員

学科別の募集人員は、下表のとおりです。

学 科	募集人員	備 考
機 械 工 学 科	40 名	各学科の募集人員は、推薦による選抜の募集人員(各学科とも18名程度)と帰国生徒特別選抜の募集人員(各学科とも若干名)を含みます。
電 気 電 子 工 学 科	40 名	
電 子 情 報 工 学 科	40 名	
生 物 応 用 化 学 科	40 名	
材 料 工 学 科	40 名	
計	200 名	

Ⅲ. 推薦による入学者の選抜

1. 中学校等からの推薦者数

制限は設けません。

2. 出願資格

下記の各要件に該当し、在籍学校長が責任をもって推薦できる者

(1) 次のいずれかに該当する者

- ①中学校を令和7年3月に卒業見込みの者
- ②義務教育学校を令和7年3月に卒業見込みの者
- ③中等教育学校前期課程を令和7年3月に修了見込みの者
- ④文部科学大臣が中学校の課程と同等課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年3月に修了見込みの者

(2) 本校入学の意思が強固である者

(3) 志望学科に対して適性を有し、志望の動機が適切である者

(4) 品行方正で他の模範となる者

(5) 中学校3年間、(若しくは、義務教育学校後期課程3年間、中等教育学校前期課程3年間、文部科学大臣が中学校の課程と同等課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程3年間)における9教科の5段階評価の合計(内申点)が、110以上である者

3. 出願手続

出願手続は、WEB出願サイトにてWEBエントリーを行った後、写真票・申込内容確認書・調査書・推薦書の出願書類を本校へ提出することで完了となります。(出願にあたってWEBエントリーは必須です。)

(1) WEBエントリー及び出願書類受付期間

WEB エントリー	期 間	令和6年12月2日(月)から令和7年1月6日(月) (注) 出願書類受付に間に合うようにエントリーすること。
出願書類 受 付	期 間	令和6年12月26日(木), 27日(金), 令和7年1月6日(月) (注) 郵送の場合も令和7年1月6日(月)16時30分までに必着のこと。
	取扱時間	9時から16時30分まで。 (土・日曜, 祝日を除く)
	場 所	〒510-0294 鈴鹿市白子町 鈴鹿工業高等専門学校 学生課入試係

令和7年度学科学生募集要項

(2) WEBエントリー及び出願書類提出

① WEBエントリー

本校ウェブページからWEB出願サイトへアクセスし、巻末の「WEBエントリーから出願までの流れ」や本校ウェブページの「WEB出願の手引き」を参考にエントリーを行い、入学検定料16,500円及び手数料等を納付してください。入学検定料等の納付後、出願書類の写真票・宛名票がWEB出願サイトマイページから出力可能となります。

② 出願書類提出

WEBエントリーを行った後、下記の書類について在籍学校長を経て提出してください。出願書類を郵送する場合は角2サイズの封筒に入れて必ず書留郵便とし、封筒の表に「**出願手続書類在中**」と朱書きしてください。なお、宛名票の使用は任意とします。

提出書類	摘要
写真票	WEB出願サイトマイページからカラー印刷したもの。写真は、上半身・正面・脱帽・無背景（縦4cm×横3cm）で、出願前3か月以内に撮影したもの。
申込内容確認書	WEB出願サイトマイページから入学検定料支払い後、A4用紙に両面で印刷したもの。
調査書	本校所定の用紙（推薦選抜用）に、在籍学校長が必要事項を記載したもの。
推薦書	本校所定の用紙に、在籍学校長が必要事項を記載したもの。

(3) 出願手続き完了後の流れ

① 受験票の印刷

本校で出願書類を受領し出願が完了すると、提出書類受領メールが届きます。この提出書類受領メールが届いたら、受験票をWEB出願サイトマイページから印刷できるようになります。試験当日は印刷した受験票を必ず持ってきてください。なお、令和7年1月8日（水）を過ぎても提出書類受領メールが届かない場合は本校学生課入試係にお問い合わせください。

② 受験に関する案内メール

令和7年1月8日（水）に受験についての案内をメールにてお送りします。令和7年1月9日（木）を過ぎてもメールが届かない場合や不明な点がある場合には本校学生課入試係にお問い合わせください。

4. 選抜の実施方法等

選抜は、在籍学校長から提出された調査書の「各教科の学習の記録（必修教科の評定）」の合計（内申点）、「特別活動等の記録（生徒会活動、部活動等）」を評価した点（特別活動点）及び面接の結果（面接点）を総合して行います。面接では、アドミッション・ポリシーに則り適性、意欲、人物を評価します。

内申点を135点満点、特別活動点と面接点を合わせて135点満点、合計270点満点として評価します。

令和7年度学科学生募集要項

面接の日時・検査場

期 日	令和7年1月11日(土)
時 間	指定する時間は本校ウェブページにてお知らせします。 (本校ウェブページに障害等があった場合は学校長宛てに通知します。)
検 査 場	鈴鹿工業高等専門学校

※災害及び不測の事態等により検査ができない場合は、別途再検査を実施する予定です。

5. 合格者発表

令和7年1月17日(金) 10時に本校ウェブページへ合格者の受験番号を掲載します。(本校ウェブページに障害等があった場合は本校内に掲示等で対応します。) また、遅くとも同日中に在籍学校長及び本人あてに選抜結果の通知書を発送します。電話等による可否の問い合わせはご遠慮ください。

6. 入学手続

郵送される合格通知書に同封の振込依頼書により入学料84,600円を振込み、入学手続期間内に学生課入試係に必要な書類を提出してください。

一旦振込まれた入学料は、返金できません。

入学手続期間は、次のとおりです。

令和7年1月20日(月) 13時から令和7年1月24日(金) 16時30分まで
* 9時から12時まで、13時から17時まで(最終日を除く)

郵送する場合は、書類不備がないように十分注意し、320円分の切手を貼った角2サイズの返信用封筒を同封して書留郵便で送付してください。なお、入学手続きが上記期間中に終了するよう十分時間の余裕をもって手続きを行ってください。

期間内に手続きを完了していない場合は入学を認めません。

(入学手続きの詳細は、合格通知書送付の際にお知らせします。)

7. 推薦による選抜で不合格となった者の学力検査受験等について

推薦による入学者の選抜の結果不合格となった場合、あらかじめWEBエントリーの「学力検査または帰国生徒特別選抜受験希望の有無」欄の「有」を選択した者は、WEBエントリー、出願書類の再提出及び検定料の再納付をすることなく、学力検査または帰国生徒特別選抜を受験することができます。(受験票は、推薦選抜の際に使用した受験票を使用しますので、学力検査当日は当該受験票を持参してください。)

学力検査による選抜または帰国生徒特別選抜を希望する場合は、WEBエントリー時に、

- ① 学力検査による選抜または帰国生徒特別選抜の志望学科(推薦選抜の志望学科と異なってもかまいません。)を選択してください。本募集要項7ページ「(5)志望学科について」を参照ください。
- ② 学力検査による選抜を受験する検査場(本校以外の検査場)を希望するとき

令和7年度学科学生募集要項

は、本募集要項7ページ「(6)「学力検査による選抜」における最寄り地等受験制度について」を参照ください。なお、帰国生徒特別選抜は最寄り地等受験制度の対象外となります。

- ③ 学力検査による選抜または帰国生徒特別選抜で合格した場合の入学意思を必ず選択してください。

項目③については、WEBエントリー時に、合格した場合の入学意思について次のA、Bから選択してください。A、Bいずれを選択しても可否には関係ありません。なお、補欠の対象者はAだけとします。

- A 鈴鹿高専を第1希望とし、合格したら必ず入学する。
B 合格しても入学するとは限らない。

推薦による入学者の選抜の結果不合格となった場合に帰国生徒特別選抜で受験希望の者は、令和6年12月2日(月)までに必ず本校学生課入試係に照会してください。(事前に照会のない者は出願できませんのでご注意ください。)

帰国生徒特別選抜については、本募集要項8ページ以降をご覧ください。

IV. 学力検査による入学者の選抜

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 中学校を卒業した者(令和7年3月卒業見込みの者を含む。)
- (2) 義務教育学校を卒業した者(令和7年3月卒業見込みの者を含む。)
- (3) 中等教育学校の前期課程を修了した者(令和7年3月修了見込みの者を含む。)
- (4) 文部科学大臣が中学校の課程と同等課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者(令和7年3月修了見込みの者を含む。)
- (5) その他相当年令に達し、本校が中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者(学校教育法施行規則第95条各号の一に該当する者)

2. 出願手続

出願手続は、WEB出願サイトにてWEBエントリーを行った後、写真票・申込内容確認書・調査書の出願書類を本校へ提出することで完了となります。(出願にあたってWEBエントリーは必須です。)

- (1) WEBエントリー及び出願書類受付期間

WEB エントリー	期 間	令和6年12月2日(月)から令和7年1月30日(木) (注)出願書類受付に間に合うようにエントリーすること。
出願書類 受 付	期 間	令和7年1月27日(月)から令和7年1月30日(木) (注)郵送の場合も令和7年1月30日(木)16時30分までに必着のこと。
	取扱時間	9時から16時30分まで。

令和7年度学科学生募集要項

	場 所	〒510-0294 鈴鹿市白子町 鈴鹿工業高等専門学校 学生課入試係
--	-----	---------------------------------------

(2) WEBエントリー及び出願書類提出

① WEBエントリー

本校ウェブページからWEB出願サイトへアクセスし、巻末の「WEBエントリーから出願までの流れ」や本校ウェブページの「WEB出願の手引き」を参考にエントリーを行い、入学検定料16,500円及び手数料等を納付してください。入学検定料等の納付後、出願書類の写真票・宛名票がWEB出願サイトマイページから出力可能となります。

② 出願書類提出

WEBエントリーを行った後、下記の書類について在籍（出身）学校長を経て提出してください。出願書類を郵送する場合は、角2サイズの封筒に入れて必ず書留郵便とし、封筒の表に「出願手続書類在中」と朱書きしてください。なお、宛名票の使用は任意とします。

提出書類	摘 要
写 真 票	WEB出願サイトマイページからカラー印刷したもの。写真は、上半身・正面・脱帽・無背景（縦4cm×横3cm）で、出願前3か月以内に撮影したもの。
申込内容確認書	WEB出願サイトマイページから入学検定料支払い後、A4用紙に両面で印刷したもの。
調 査 書	本校所定の用紙（学力選抜用）に、在籍（出身）学校長が必要事項を記載したもの。

(3) 出願手続き完了後の流れ

① 受験票の印刷

本校で出願書類を受領し出願が完了すると、提出書類受領メールが届きます。この提出書類受領メールが届いたら、受験票をWEB出願サイトマイページから印刷できるようになります。試験当日は印刷した受験票を必ず持ってきてください。なお、令和7年2月3日（月）を過ぎても提出書類受領メールが届かない場合は本校学生課入試係にお問い合わせください。

② 受験に関する案内メール

令和7年2月3日（月）に受験についての案内をメールにてお送りします。令和7年2月4日（火）を過ぎてもメールが届かない場合や不明な点がある場合には本校学生課入試係にお問い合わせください。

(4) 入学意思の確認について

WEBエントリー時に、合格した場合の入学意思について、次のA、Bから選択してください。A、Bいずれを選択しても合否には関係ありません。なお、補欠の対象者はAだけとします。

A 鈴鹿高専を第1希望とし、合格したら必ず入学する。

B 合格しても入学するとは限らない。

令和7年度学科学生募集要項

(5) 志望学科について

WEBエントリー及びその他の提出書類に、志望学科を選択または記入してください。志望学科は第1志望学科から第2志望学科まで選択できます。第2志望学科がない場合は「志望なし」を選択してください。なお、**第2志望学科で合格となる場合は、第1志望学科の補欠の対象者にはなりません。**また、出願後の志望学科の変更及び追加は認めません。

(6) 「学力検査による選抜」における最寄り地等受験制度について

国立高等専門学校機構では、「学力検査による選抜」において、出願する高専に関係なく、全国にある51の国立高等専門学校とその他設置している会場のどこでも受験が可能な『最寄り地等受験制度』を導入しています。志願者は本校が設置する会場以外に、機構ウェブページの『入学者選抜学力検査会場一覧』から、受験したい会場を希望することができます。

ただし、会場の収容人数等の都合で必ずしも希望に添えないこともありますので、希望する志願者は、本校まで、必ず事前の相談をお願いします（下記に記載している本校の「主たる検査会場」は、事前相談は不要です）。

【事前相談問い合わせ先】

窓 口：鈴鹿工業高等専門学校 学生課入試係

電 話：059-368-1739

相談期間：令和6年11月1日（金）～令和7年1月29日（水）

（土・日曜、祝日、12月28日～1月3日を除く）

最寄り地等受験制度 会場一覧掲載先（機構ウェブページ）

各会場の受け入れ状況を随時更新します。

<https://www.kosen-k.go.jp/exam/admissions/moyori.html>

本校の「主たる検査会場」：鈴鹿会場



（機構ウェブページ）

※「推薦による選抜」、「帰国生徒特別選抜」は、本制度の対象外です。

※事前相談締切後については、やむを得ない場合を除き原則受け付けません。

3. 選抜の実施方法等

(1) 選抜の実施方法

選抜は、学力検査（理科、英語、数学、国語、社会）及び調査書の合計点を評価して選抜します。学力検査は、理科、英語、数学は各教科150点満点、国語、社会は各教科100点満点で5教科計650点満点、調査書は100点満点、合計750点満点として評価します。合格ライン上で合計点が同点の場合は、学力検査の得点で合格者を決定します。

学力検査の解答方法は、マークシート方式です。必ず黒鉛筆（HB）を持参してください。（シャープペンシルは使用できません。HB以外の鉛筆は、解答を正確に読み取れない場合があります。）

令和7年度学科学生募集要項

(2) 検査日時・検査場

期 日・検 査 場	教 科	時 間
令和7年2月9日(日) 鈴鹿工業高等専門学校 (最寄り地等受験制度があります。)	理 科	9時30分 ~ 10時20分
	英 語	10時40分 ~ 11時30分
	数 学	11時50分 ~ 12時40分
	国 語	13時30分 ~ 14時20分
	社 会	14時40分 ~ 15時30分

※災害及び不測の事態等により検査ができない場合は、令和7年2月16日(日)に再検査を実施する予定です。

4. 合格者発表

令和7年2月21日(金) 10時に本校ウェブページへ合格者の受験番号を掲載します。(本校ウェブページに障害等があった場合は本校内に掲示等で対応します。)

また、遅くとも同日中に合格者本人あてに合格通知書を、補欠対象者あてに補欠通知書を発送するとともに、在籍学校長あてには合格者及び補欠対象者の受験番号一覧を発送します。

電話等による可否の問い合わせはご遠慮ください。

5. 入学手続

郵送される合格通知書に同封の振込依頼書により入学料84,600円を振込み、入学手続期間内に学生課入試係に必要な書類を提出してください。

一旦振込まれた入学料は、返金できません。

入学手続期間は、次のとおりです。

令和7年2月25日(火) 13時から令和7年3月17日(月) 正午まで

*土・日は除き、9時から12時まで、13時から17時まで(最終日を除く)

郵送する場合は、書類不備がないように十分注意し、320円分の切手を貼った角2サイズの返信用封筒を同封して書留郵便で送付してください。なお、入学手続きが上記期間中に終了するよう十分時間の余裕をもって手続きを行ってください。

期間内に手続きを完了していない場合は入学を認めません。

(入学手続きの詳細は、合格通知書送付の際にお知らせします。)

V. 帰国生徒特別選抜

1. 出願資格

日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等に伴って外国において教育を受けた者(海外の中学校に相当する課程に通算して2年以上在籍した者で、令和5年3月以降の帰国者)で次のいずれかに該当する者

(1) 中学校を卒業した者(令和7年3月卒業見込みの者を含む。)

令和7年度学科学生募集要項

- (2) 義務教育学校を卒業した者（令和7年3月卒業見込みの者を含む。）
- (3) 中等教育学校の前期課程を修了した者（令和7年3月修了見込みの者を含む。）
- (4) 文部科学大臣が中学校の課程と同等課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者（令和7年3月修了見込みの者を含む。）
- (5) その他相当年令に達し、本校が中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者（学校教育法施行規則第95条各号の一に該当する者）

注) 帰国生徒特別選抜用の出願書類等は添付していません。入学志願の者は、令和6年12月2日（月）までに必ず本校学生課入試係に照会してください。出願資格等を確認した上で出願書類を送付します。（事前に照会のない者は出願できませんのでご注意ください。）

2. 出願手続

出願手続は、WEB出願サイトにてWEBエントリーを行った後、写真票・申込内容確認書・調査書（成績証明書）・海外在住状況説明書等の出願書類を本校へ提出することで完了となります。（出願にあたってWEBエントリーは必須です。）

(1) WEBエントリー及び出願書類受付期間

WEB エントリー	期 間	令和6年12月2日（月）から令和7年1月30日（木） （注）出願書類受付に間に合うようにエントリーすること。
出願書類 受 付	期 間	令和7年1月27日（月）から令和7年1月30日（木） （注）郵送の場合も令和7年1月30日（木）16時30分までに必着のこと。
	取扱時間	9時から16時30分まで。
	場 所	〒510-0294 鈴鹿市白子町 鈴鹿工業高等専門学校 学生課入試係

(2) WEBエントリー及び出願書類提出

① WEBエントリー

本校ウェブページからWEB出願サイトへアクセスし、巻末の「WEBエントリーから出願までの流れ」や本校ウェブページの「WEB出願の手引き」を参考にエントリーを行い、入学検定料16,500円及び手数料等を納付してください。入学検定料等の納付後、出願書類の写真票・宛名票がWEB出願サイトマイページから出力可能となります。

② 出願書類提出

WEBエントリーを行った後、下記の書類について在籍（出身）学校長を経て提出してください。出願書類を郵送する場合は、角2サイズの封筒に入れて必ず書留郵便とし、封筒の表に「出願手続書類在中」と朱書きしてください。なお、宛名票の使用は任意とします。

令和7年度学科学生募集要項

提出書類	摘 要
写 真 票	WEB出願サイトマイページからカラー印刷したもの。写真は、上半身・正面・脱帽・無背景（縦4cm×横3cm）で、出願前3か月以内に撮影したもの。
申込内容確認書	入学検定料支払い後、WEB出願サイトマイページからA4用紙に両面で印刷したもの。
調 査 書 (成績証明書)	本校所定の用紙（帰国生徒特別選抜用）に、在籍（出身）学校長が必要事項を記載したもの。 海外の現地校等を卒業した者及び卒業見込みの者で本校所定の調査書の作成が困難な場合、当該学校等が発行した成績証明書及び卒業（修了）証明書又は同見込証明書を提出してください。なお、成績証明書を提出する場合の各教科の評定は、100点法に換算したものを記載してください。不可能な場合は、100点法との対応表を添付してください。 ※海外の現地校等が作成する書類が日本語以外の場合には、日本語訳を添付してください。
海 外 在 住 状 況 説 明 書	本校所定の用紙に記入してください。
そ の 他	外国籍を有する者は、市区町村長発行の外国人登録証明書（在留資格が明示されたもの）又は在留カードの写し（表・裏）等を提出してください。

(3) 出願手続き完了後の流れ

① 受験票の印刷

本校で出願書類を受領し出願が完了すると、提出書類受領メールが届きます。この提出書類受領メールが届いたら、受験票をWEB出願サイトマイページから印刷できるようになります。試験当日は印刷した受験票を必ず持ってきてください。なお、令和7年2月3日（月）を過ぎても提出書類受領メールが届かない場合は本校学生課入試係にお問い合わせください。

② 受験に関する案内メール

令和7年2月3日（月）に受験についての案内をメールにてお送りします。令和7年2月4日（火）を過ぎてもメールが届かない場合や不明な点がある場合には本校学生課入試係にお問い合わせください。

(4) 入学意思の確認について

WEBエントリー時に、合格した場合の入学意思について、次のA、Bから選択してください。A、Bいずれを選択しても可否には関係ありません。なお、補欠の対象者はAだけとします。

A 鈴鹿高専を第1希望とし、合格したら必ず入学する。

B 合格しても入学するとは限らない。

(5) 志望学科について

WEBエントリー及びその他の提出書類に、志望学科を選択または記入してください。志望学科は第1志望学科から第2志望学科まで選択できます。第2志望学科がな

令和7年度学科学生募集要項

い場合は「志望なし」を選択してください。なお、**第2志望学科で合格となる場合は、第1志望学科の補欠の対象者にはなりません。**また、出願後の志望学科の変更及び追加は認めません。

3. 選抜の実施方法等

(1) 選抜の実施方法

選抜は、学力検査（理科，英語，数学），作文，面接及び調査書（成績証明書）の合計点を評価して選抜します。学力検査は，理科，英語，数学の各教科150点満点で3教科計450点満点，作文（800字以内）は100点満点，面接及び調査書（成績証明書）は合わせて200点満点，合計750点満点として評価します。

学力検査の解答方法は、マークシート方式です。必ず黒鉛筆（HB）を持参してください。（シャープペンシルは使用できません。HB以外の鉛筆は、解答を正確に読み取れない場合があります。）

作文も黒鉛筆（HB）を使用してください。

(2) 検査日時・検査場

期 日・検 査 場	教 科	時 間
令和7年2月9日（日） 鈴鹿工業高等専門学校	理 科	9時30分 ～ 10時20分
	英 語	10時40分 ～ 11時30分
	数 学	11時50分 ～ 12時40分
	作 文	13時30分 ～ 14時20分
	面 接	14時40分 ～ 15時30分

※災害及び不測の事態等により検査ができない場合は、令和7年2月16日（日）に再検査を実施する予定です。

4. 合格者発表

令和7年2月21日（金）10時に本校ウェブページへ合格者の受験番号を掲載します。（本校ウェブページに障害等があった場合は本校内に掲示等で対応します。）

また、遅くとも同日中に合格者本人あてに合格通知書を、補欠対象者あてに補欠通知書を発送するとともに、在籍学校長あてには合格者及び補欠対象者の受験番号一覧を発送します。

電話等による合否の問い合わせはご遠慮ください。

5. 入学手続

郵送される合格通知書に同封の振込依頼書により入学料84,600円を振込み、入学手続期間内に学生課入試係に必要な書類を提出してください。

一旦振込まれた入学料は、返金できません。

入学手続期間は、次のとおりです。

令和7年2月25日（火）13時から令和7年3月17日（月）正午まで

*土・日は除き、9時から12時まで、13時から17時まで（最終日を除く）

郵送する場合は、書類不備がないように十分注意し、320円分の切手を貼った角

令和7年度学科学生募集要項

2サイズの返信用封筒を同封して書留郵便で送付してください。なお、入学手続きが上記期間中に終了するよう十分時間の余裕をもって手続きを行ってください。

期間内に手続きを完了していない場合は入学を認めません。

(入学手続きの詳細は、合格通知書送付の際にお知らせします。)

VI. 追試験の実施について

1. 受験資格

推薦による選抜、学力検査による選抜及び帰国生徒特別選抜の志願者が、本試験を受験できない場合の対応として追試験を実施します。

(1) 追試験受験の申請対象者

追試験受験の申請対象者は次のいずれかに該当する志願者としてします。

- ア. 学校保健安全法施行規則（昭和33年文部省令第18号。以下「施行規則」という。）第十八条に定める感染症に罹患、または罹患している疑いがある、もしくは月経随伴症状等の体調不良により本試験を受験できない者。
- イ. その他、受験者自身の責めに帰することができない理由で本試験を受験できず、追試験の受験を申請した者で、校長がその申請を認めた者。

※アに示す本試験を受験できない事由は、中学校等の長又は医療機関による証明等により、校長が確認するものとする。

※アに示す本試験を受験できない事由を認める期間については、施行規則第十九条に定める出席停止の期間の基準を原則とする。

(2) 追試験受験の申請手続

本試験開始前までに本校学生課入試係へ欠席連絡のうえ追試験受験希望を申し出て、担当者から指示を受けてください。なお、**本試験開始前までに連絡のない場合は、追試験受験の意思がないものとして取り扱います。**

2. 推薦による選抜における追試験

(1) 面接の日時・検査場

期 日	令和7年1月25日（土）
時 間	指定する時間は本校ウェブページにてお知らせします。 (本校ウェブページに障害等があった場合は学校長宛てに通知します。)
検 査 場	鈴鹿工業高等専門学校

※災害及び不測の事態等により検査ができない場合は、別途再検査を実施する予定です。

(2) 追試験の合格者発表

令和7年1月29日（水）10時

(3) 入学手続

推薦による入学者選抜の入学手続と同様とします。ただし、入学手続期間は次のとおりとします。

令和7年1月30日（木）13時から令和7年2月4日（火）正午まで

*土・日は除き、9時から12時まで、13時から17時まで(最終日を除く)

3. 学力検査による選抜，帰国生徒特別選抜における追試験

(1) 検査日及び実施場所

期 日	令和7年2月23日（日） （追試験における教科・時間は本試験と同様です。）
検査場	鈴鹿工業高等専門学校 （学力検査による選抜は，最寄り地等受験制度があります。）

※災害及び不測の事態等により検査ができない場合は，令和7年2月24日（月）に再検査を実施する予定です。

(2) 追試験の合格者発表

令和7年3月3日（月）10時

(3) 入学手続

学力検査による選抜及び帰国生徒特別選抜の入学手続と同様とします。

4. その他

今後，新型コロナウイルス感染症の感染拡大により，新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が発令される等の状況が発生した場合，上記内容及び募集要項等を見直し，変更する場合があります。変更があった場合は，本校ウェブページ上で公表します。

Ⅶ. 出願上の留意事項

- ① 巻末の「WEBエントリーから出願までの流れ」や本校ウェブページの「WEB出願の手引き」を参考にWEBエントリーを行ってください。
- ② 受験生本人のみではなく，必ず保護者や中学校等が内容を確認してWEBエントリーしてください。WEBエントリーを行った後の変更は原則認められません。
- ③ 一旦受理した出願書類は，変更及び追加は認められません。また，返却はできません。
- ④ 払込済の検定料は，次の場合を除き，いかなる理由があっても返金できません。
 - ・検定料を納付したが出願しなかった場合
 - ・検定料を重複して納付した場合
 上記に該当する場合は，速やかに本校学生課入試係へ連絡願います。
- ⑤ 出願書類に事実と異なる記載があった場合は，入学後であっても入学を取り消すことがあります。（出願書類は，フリクションボールペンなど簡単に消せる筆記用具では記入しないでください。）
- ⑥ 募集要項及び入学検査に関し不明なことがある場合は，本校学生課入試係にお問い合わせください。

Ⅷ. 入試成績の開示について

本校では、受験者が希望する場合、下記により入試成績の開示を行います。
推薦による選抜は、この制度による開示の対象となりませんので注意してください。

1. 申請者

学力検査による入学者選抜の受験者本人に限ります。(代理人による申請は認めません。)

2. 開示内容

- (1) 学力検査の科目別得点
- (2) 調査書の得点(評価点)
- (3) 総得点
- (4) 順位

3. 申請期間

令和7年3月7日(金)から4月25日(金)までとします。

(土・日・祝を除き、9時から12時まで、13時から17時まで)

卒業式(3月21日)、(入学手続最終日(3月17日)、入学予定者オリエンテーション実施日(3月25日)、入学式(未定)等の学校行事のある日は、窓口での申請はできません。)

4. 申請に必要な書類

- (1) 鈴鹿工業高等専門学校入試成績開示申請書
入試成績開示申請書は、本校ウェブページから印刷することができます。
- (2) 本校受験票及び本人確認できるもの(学生証等)
- (3) 返信用封筒(開示通知書送付用。郵送による開示請求の場合のみ。)
長型3号の封筒に、本人の郵便番号・住所(入学願書に記載されている住所に限る。)・氏名を明記の上、460円分の切手を貼ってください。

5. 申請方法

開示を請求する受験者本人が来校し、本校の受験票(コピーは不可)及び本人確認できるもの(学生証等)を提示し、学生課の窓口で申請してください。

遠隔地に居住する等の理由で本人が来校することができない場合は、郵便でも受け付けますので入試成績開示申請書、本校の受験票(コピーは不可)及び本人確認できるもの(学生証等のコピー)を同封してください。(4月25日(金)消印有効。)

6. 開示の方法

本人が来校し窓口で申請した場合には、原則として申請した日に窓口で開示します。郵便により申請した場合には、提出された返信封筒を使用し郵送により開示します。(1週間程度日数がかかる場合があります。)

7. 申請窓口

鈴鹿工業高等専門学校 学生課入試係

〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町 電話059-368-1739

IX. 個人情報情報の取扱い

本校では、入学志願者から提出されたWEBエントリー登録内容や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた検査成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

X. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

本校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び、「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障害等による支援ニーズのある学生に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに本校学生課入試係までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、入学願書提出期限の一か月前を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、生徒、生徒の保護者及び、在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」によって示されている、1) 障害者手帳の種類・等級・区分認定、2) 適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3) 標準化された心理検査等の結果、4) 専門家の所見、5) 中学校、特別支援学校中等部等入学前の支援状況に関する資料、6) 本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※ 根拠資料に関しては提出の要不要に関しても入試担当窓口までご相談ください。

ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

(お願い)

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入試後、または入学後に合理的配慮に関して初めて申請なさると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

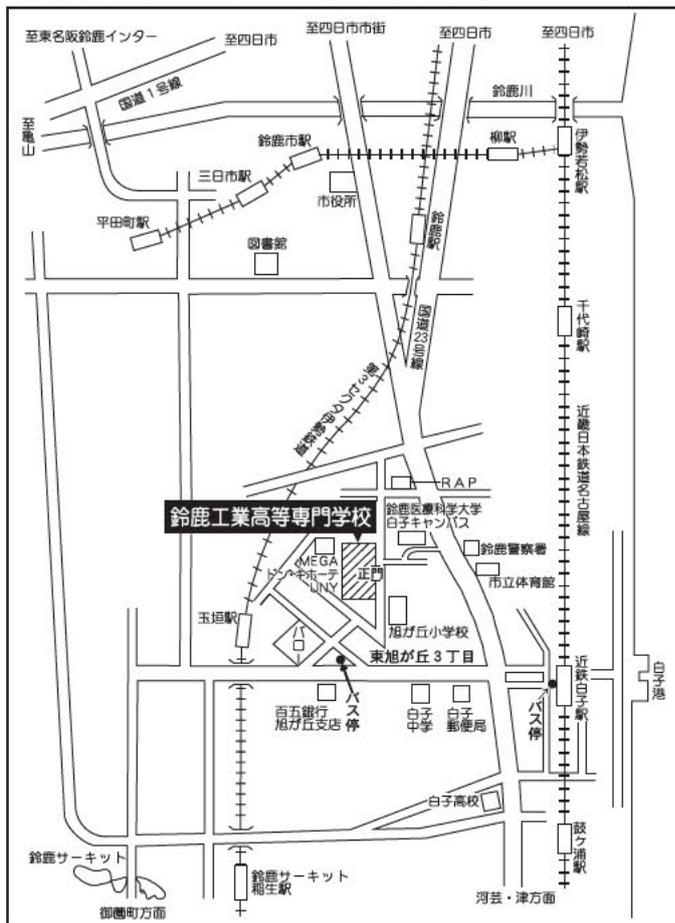
Ⅺ. 入学予定者オリエンテーション

令和7年3月25日(火)に、入学予定者と保護者を対象としたオリエンテーションを予定しています(日程は変更になる場合があります)。詳細は、別途案内いたしますので**必ず**出席してください。

同日に「入寮希望者オリエンテーション」を実施します。ただし、入寮許可に関しては通学時間 最寄り駅までの距離等の状況をもとに選考を行い、定員を上回る入寮希望がある場合はご自宅からの通学をお願いすることがありますので、あらかじめご了承ください。

Ⅻ. 検査場の位置図及び交通案内

◎鈴鹿工業高等専門学校



検査場までの交通案内

- ・近鉄名古屋線白子駅下車、三重交通バス白子駅(西口)から平田町駅行又は鈴鹿サーキット行に乗車約10分、東旭が丘3丁目下車、徒歩約7分

入学案内

I. 鈴鹿工業高等専門学校について

1. 鈴鹿工業高等専門学校の歴史

昭和37年(1962年)4月に、我が国の工業を支える優れたエンジニアを育成するため、中学校卒業後の5年間で大学の学部と同水準の専門教育をめざす国立の高等教育機関として設立されたのが高等専門学校です。

現在、国公立合設58校設置されていますが、鈴鹿工業高等専門学校(以下「鈴鹿高専」という。)は制度創設と同時に、機械工学科、電気工学科(現電気電子工学科)、工業化学科(現生物応用化学科)の3学科体制で出発しました。その後金属工学科(現材料工学科)と電子情報工学科が増設され、これまでに約9,500人の卒業生が巣立ちました。そして、技術者や研究者あるいは企業経営者として社会で活躍し、教育界や産業界の方々から高い評価を受けています。

また平成5年度には、科学技術の進展と本格的な国際化時代の到来に対応するため、学科5年間の教育課程に加え、2年間の高度な専門教育を実施する「専攻科」を設置し、国際社会で活躍できる人材の育成に努めています。

平成16年度には、独立行政法人「国立高等専門学校機構」が設置する国立高専の1つとして組織改変がなされるとともに、大学改革支援・学位授与機構による教育研究活動などの総合的な評価を定期的に受けることになり、平成17年度、平成24年度に引き続き、平成30年度に高等専門学校評価基準を満たしていると認定され、数多くの取組みが高く評価されました。

2. 教育理念

今日、科学技術の高度化と国際化の到来により、技術者教育を担う高等教育機関には新たな展開が求められています。そのため、鈴鹿高専では建学の精神を範とした、次のような教育理念を定め、「世界に羽ばたく創造的なエンジニア」の育成を目指しています。

- ① 広い視野から価値判断ができ、技術者精神を備えた豊かな人間性を涵養します。
- ② 科学技術に関する高い専門知識と技術に基づく深い洞察力と実践力を育成します。
- ③ 未知の問題に果敢に挑み、新たな価値を創造する力を育てます。
- ④ 心身を鍛え、己を確立し、自ら未来を切り拓く力を育てます。

II. 教育課程

第1, 2学年で受ける授業科目は、各学科に共通する一般科目（数学、物理、化学、国語、英語など）と学科別専門基礎科目（実験・実習も含む。）から構成されています。一般科目は社会人や技術者として必要となる基礎的知識と幅広い視野を養い、専門基礎科目は技術者としての第一歩を踏み出すための科目です。

第3学年から本格的な専門教育に入っていきます。各分野の理論や技術を学ぶとともに、知識を応用する力、結果を評価し判断する力などを養います。特に第4, 5学年においては、ものづくりや技術開発の場で新しい価値を生み出す能力を育てるために、より高度な工学実験、創造工学、卒業研究などの重要科目が配置してあります。

なお、本校では「英語によるコミュニケーション能力」を育てる教育にも力を入れており、ネイティブ・スピーカーによる少人数授業や TOEIC（国際的に通用する英語運用能力検定試験。TOEIC IP テストを含む。）等を活用し、学習支援を行っています。

III. 修業年限及び学科卒業生の称号

修業年限は5年で、学科卒業生は「準学士(工学)」と称することが認められます。

IV. 学科紹介

・機械工学科

機械工学に関する基礎理論と専門知識（材料と構造、運動と振動、エネルギーと流れ、情報と計測・制御、設計と生産）に加えメカトロニクス・ロボット工学・CAD/CAMなどコンピュータ応用技術に関する幅広い知識も習得します。

・電気電子工学科

電力・鉄道などの社会インフラから、デジタル家電やスマートフォンなどの電化製品・電気電子機器の設計・生産をはじめ、機械・化学・食品・ICT産業などの分野で活躍できる電気電子技術者になることができます。本学科は第2種電気主任技術者の認定対象学科です。

・電子情報工学科

コンピュータはスマートフォン、デジタル家電、自動車、航空機などあらゆるものに組み込まれ、豊かな生活を実現するためにかかせません。電子情報工学科では、「電子」「情報」「通信」「制御」の知識と技術をバランスよく学ぶことができ、多くの卒業生が技術者、研究者としてコンピュータ社会の様々な分野で活躍しています。

・生物応用化学科

工業化学を学ぶ「応用化学コース」と生物工学を学ぶ「生物化学コース」があります。両コース共に医薬・化粧品などのファインケミカルズ、プラスチック、環境保全などに関連する知識や技術を習得するほか、最新の化学理論とバイオテクノロジーをそれぞれ学びます。

・材料工学科

金属材料、無機材料、有機材料などの専門知識と技術（材料の物理、化学、構造、機能、製造プロセス、分析・評価等）を習得し、設計製図や機械工作、コンピュータ応用技術なども身に付けた実践的な材料技術者を目指します。

令和7年度学科学生募集要項

V. 卒業までに必要な経費（予定額）

(通学生・寮生共通)

在学中の学校納入金及び諸経費等

(円)

学年等	授業料	諸経費等					計	
		諸経費 積立金 (各研修/各受験 料など)	学生会費	日本スポーツ 振興センター 会費	教育後援会	傷害 共済 会費		
第1学年	前期	117,300	65,000	10,200	1,550	32,200	500	226,750
	後期	117,300	65,000	-	-	22,200	-	204,500
第2学年	前期	117,300	70,000	7,200	1,550	22,200	500	218,750
	後期	117,300	70,000	-	-	22,200	-	209,500
第3学年	前期	117,300	10,000	7,200	1,550	22,200	500	158,750
	後期	117,300	10,000	-	-	22,200	-	149,500
第4学年	前期	117,300	10,000	7,200	1,550	22,200	500	158,750
	後期	117,300	-	-	-	22,200	-	139,500
第5学年	前期	117,300	20,000	7,200	1,550	22,200	500	168,750
	後期	117,300	-	-	-	22,200	-	139,500

- ① 授業料は、在籍36ヶ月の期間について申請により就学支援金の支給が認められた場合、世帯の課税額に応じて減額されます。
在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。
- ② 入学手続き時に入学料84,600円が別途必要になります。
- ③ 入学前に制服・体操服・体育館シューズ・教科書・教材費等約200,000円(学科によって異なります。)が別途必要になります。
- ④ 第1学年、第2学年の諸経費積立金の清算は第3学年進級時に、第3学年、第4学年の諸経費積立金の清算については第5学年進級時に行います(第5学年は卒業時に清算を行います。)研修旅行先と価格変動により金額の変更があります。
- ⑤ 令和4年度入学生より情報機器(100,000円弱)を準備していただいています。機器の推奨モデル等の詳細は後日お知らせします。

(寮生のみ)

入寮生経費

(円)

学年等	寄宿料	学寮生活費	エアコン経費 (見込額)	計 (見込額)	
第1学年～第3学年	前期	4,200	65,000	20,400	89,600
	後期	4,200	65,000	20,400	89,600
第4学年～第5学年	前期	4,800	65,000	20,400	90,200
	後期	4,800	65,000	20,400	90,200

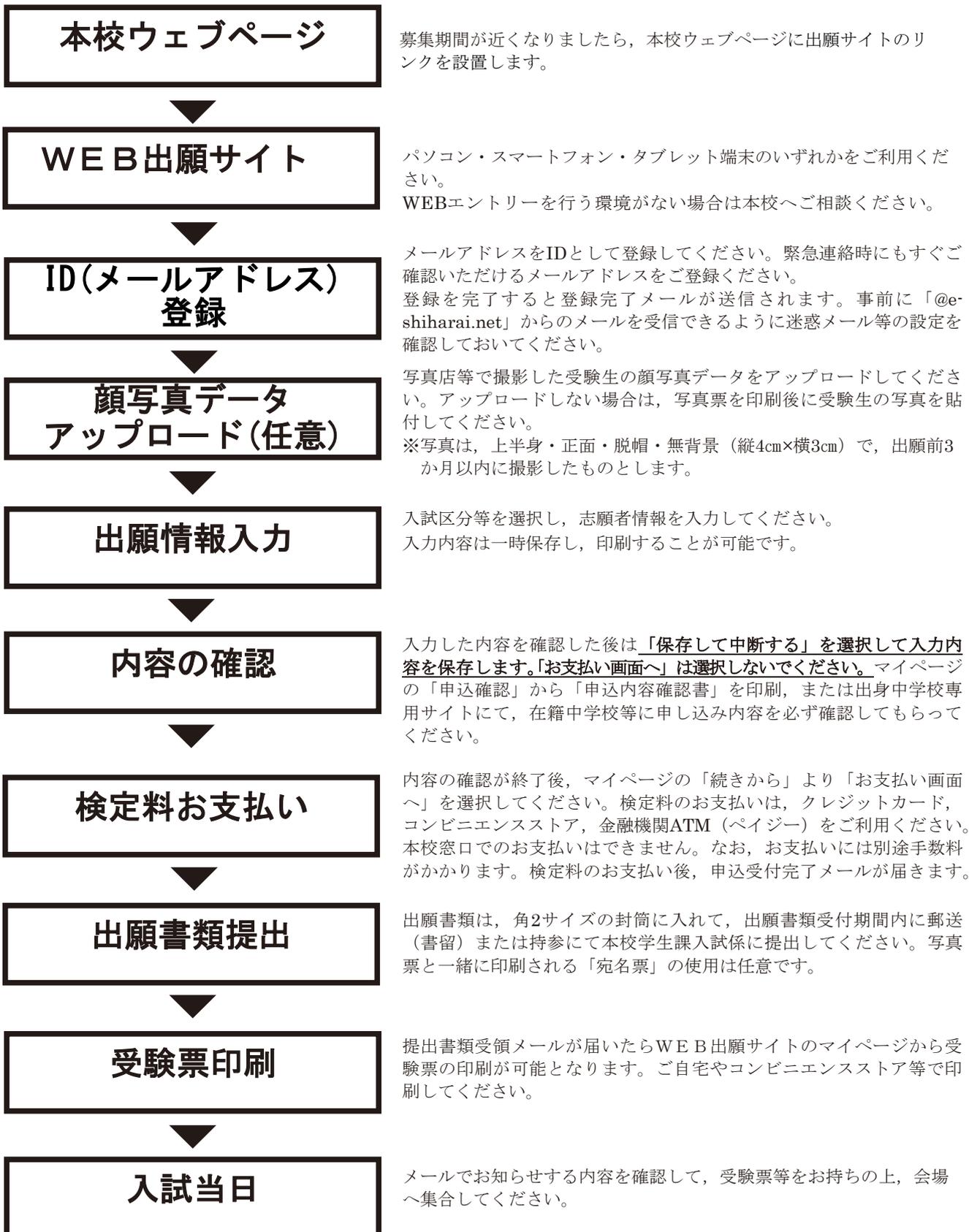
- ① 寄宿料は、複数人部屋 月額700円、1人部屋 月額800円です。
- ② 入寮時のみ入寮費4,000円が別途必要になります。
- ③ 別途食費 年間約230,000円(令和6年度)が必要です。
- ④ 食費、学寮生活費は物価状況等により改定される場合があります。
- ⑤ エアコン経費は寮生の人数により変動します。

WEBエントリーから出願までの流れ

WEB出願にあたり、以下の内容をご確認頂くとともに、本校ウェブページの「WEB出願の手引き」をご参照ください。

- ・募集要項の内容に関するお問い合わせ先：本校学生課入試係
- ・WEB出願システムに関するお問い合わせ先：サポートセンター

※WEB出願サイト右下にある「お問い合わせ先」から電話番号を確認してください。



求める入学志願者像

- (1) 中学における学習内容をしっかりと理解している人
- (2) 数学や理科に興味を持ち、科学の発展に夢を持っている人
- (3) 何事にも積極的に挑戦する意欲があり、自ら進んで学習できる人
- (4) 他人を思いやり、協調していける人

入学検査に関する問い合わせ，出願書類の請求先

独立行政法人 国立高等専門学校機構

鈴鹿工業高等専門学校

学生課 入試係

〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町

TEL 059-368-1739

FAX 059-368-1738

<https://www.suzuka-ct.ac.jp>